



巻頭言 『寺尾 寿 初代校長の足跡に思う』

理窓教育会会長 富岡 康夫(48 理・化)

2025 年 5 月 1 日に秋山仁先生が編著者で、東京理科大学維持会が発行しました「月桂冠は君の頭上に輝く」、日本近代科学の祖、東京物理学校初代校長寺尾寿（東京天文台初代台長、東京帝国大学教授）先生の足跡を、5 月 25 日に開催された校友会理窓会東京支部総会講演会で伺いました。その時、私を含め皆が秋山先生の思いや情熱を込めた姿勢に感動を受けました。本の最初の「かくして奇跡は起こった！」の項では、まず我が国最初の理学士平均年齢 25 歳の若者 21 名の思いで開校したことです。明治維新で、開国した我が国が発展するに必要な「理学の普及をもって国運発展の基礎とする」に繋がる彼らの思いです。ある放送番組で日本の近代化は東京物理学校の開校がなければ大きく遅れていたとの解説があり、学校の存在が大きく今日の科学技術立国に寄与しているとの思いにもつながりました。

初代校長の寺尾寿先生は 1855 年に福岡藩で生まれました。13 歳の時に明治維新を経験しています。そして 1871 年の時に父を亡くし、横浜の叔父を頼って 1873 年（19 歳）で上京し、横浜高島学校で仏語の基礎を学び、官制外国語学校に移り、仏語を習得しました。1874 年 9 月には東大の前身である開成学校に入学し、1878 年に東大仏語物理学科を首席で卒業し、日本で最初の理学士となりました。その間のフランス語での授業の様子や同僚との逸話は数多くこの本で紹介されています。多くの友人の中でリーダーシップを発揮しました。フランス留学から帰国し現在の西神田 3 丁目に初めて自前の校

舎を建てましたが、翌年の 1884 年 9 月の台風で倒壊し、再起が危ぶまれたとき、維持員先生の全員の気持ちをまとめて授業を始めたいきさつを知りました。創立時の寺尾寿先生が消滅の危機を救いました。当時「校舎は倒壊したが、我々の物理学の普及の思いは倒壊してはいない、永久に存続させなければならぬ」との逸話が残っているそうです。さらに東京理科大学近代科学資料館では、寺尾寿先生の次の創設者シリーズとして、「工学者を育成し、京都の近代化と地域振興に寄与した物理学校の 21 人の創設者のうちの 3 人の企画を 10 月 1 日から 12 月 12 日迄の水・木・金曜日に展示します。「難波正（なんばまさし）、三輪桓一郎（みわかんいちろう）、玉名程三（たまなていぞう）」の 3 人の先生方を京都の 3 人として紹介します。東京物理学校を創立した後、難波正先生は京都帝国大学理工科大学長、三輪桓一郎先生は京都大学理工科大学教授、玉名程三先生は第三高等学校教授として我が国の物理学の普及に努めました。

このように東京理科大学の創立時に関わった多くの先生方の姿や思いを知り、創立 150 年の 2031 年を迎えることは大事なことと思います。この志を受け継ぎ理窓教育会は多くの先生方の支えで発展します。新たに若手の交流の重要性を認識し、皆様のお力添えをお願い致します。

（文華女子高等学校名誉校長）

第1号議案

2024(令和6)年度 事業報告

1. 東京理科大学理窓教育会総会

2024(令和6)年度「書面総会」の形式で実施した。① 2024(令和6)年度の事業報告及び会計報告・監査報告。② 2025(令和7)年度の事業計画及び予算案。③ 理窓教育会理事会などはコロナ禍の経験を生かし、Zoom配信理事会で実施した。ただし、5月26日(日)理事会は、書面総会に向けて、東京理科大学において対面で実施した。

2. 組織の充実、強化に関して

① 各支部の活動状況(各支部からの報告事項から)(会報65号からのまとめ)

- ・北海道支部総会(能登啓児支部長より。8/3に開催、広域な地域性もあり厳しいが頑張っていきたい。)
- ・青森支部総会(村本卓支部長より。4月に総会実施、「おもしろサイエンス」を8月に実施した。)
- ・岩手支部総会(佐藤尚支部長より。11月に総会実施、16名参加でこうよう会とも交流ができた。)
- ・秋田支部総会(長岐康彦支部長より。秋田支部と連携して総会実施、県の若手が少しずつ増えている。)
- ・群馬支部総会(新井高広支部長より。11月群馬支部総会と共催、Uターン就職者など報告があった。)
- ・埼玉支部総会(金井信也支部長より。7月埼玉支部総会と共催、年2回幹事会実施、講演会も好評。)
- ・東京支部総会(富岡康夫支部長より。5月に対面で総会開催、午後東京支部総会后、懇親会を開催。)
- ・千葉支部総会(高梨祐介教職員部会長より。8月に実施、総勢60名参加、新人教員・学生も参加した。)
- ・神奈川支部総会(田中均支部長より。11月に実施し27名が参加、理科大学発ベンチャー企業の講演会。)
- ・山梨支部総会(橋田多喜夫支部長より。支部総会と合同で10月開催、参加が増えるよう確認した。)
- ・静岡支部総会(樋口和男支部長より。IT企業の方から理科大学出身者の活躍の報告があった。)
- ・信州支部総会(清水史明支部長より。支部総会と合同で10月開催、長野の高大連携について話し合う。)
- ・富山支部総会(近藤智久支部長より。今年も富山支部と重ねて8月開催、懇親会も大いに盛り上がった。)
- ・福井支部総会(油谷泉支部長より。11月に開催、こうよう会と連携、県の教員採用現況報告を行った。)
- ・滋賀支部総会(池田健一氏部長より。支部総会は6月実施、教育会の参加者を増やしたい。)
- ・岡山支部総会(三浦康男支部長より。支部との合同開催を模索中、こうよう会との連携を重視したい。)
- ・広島支部総会(板倉宏治支部長より。広島支部総会と合同で9月開催、こうよう会との連携を重視。)
- ・鳥取支部総会(倉光博史支部長より。支部総会は少人数で開催、教育会は厳しい現状だが努力したい。)
- ・徳島支部総会(濱本寛信支部長より。11月に14名が参加し開催、今後は教育会会員の把握に努めたい。)
- ・佐賀支部総会(吉山耕一郎支部長より。昨年に引き続き2月に開催、ライオンオープンチャットを開設。)
- ・宮崎県支部総会(児玉康裕支部長より。11月に5年ぶりに総会実施、教育会実現が努力課題。)

② 会報発行(今年度もコロナ禍を考慮し。少人数で集まり発送作業を行った)

- ・第63号 2024(令和6)年4月発行
- ・第64号 2024(令和6)年10月発行

3. 大学との新たな連携事業

2022(令和4)年度より、大学側の依頼を受け高大連携への具体的な活動がスタートした。現在、「東京理科大学同窓教員ネットワーク『TUS Linkage』」への加入を推奨中。

また、第15回「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」分野別審査会に60名が協力、及び対面発表会への支援を行なった。若手の現職教員10名に働きかけ、幅広い年代による協力体制で臨むことができた。

4. 教育会が主催するその他の活動

① 編集委員会 ・2024(令和6)年7月「第64号」について、・2025(令和7)年4月「第65号」について

② 「若手教員ネットワークの会」について

・10/20(日)ホームカミングデーと別日、教育会として第4回「研修会・懇談会」を実施した。参加者は、若手教員25名、教育会OBが18名、合計43名であった。昨年は70名の参加。

・年2回のZoom幹事会の開催 … 全国教育会支部長Zoom会の開催：2025(令和7)年2月16日(日)、午後7時から実施した。連絡可能な全国21支部のうち11支部長が参加した。第2回目のZoom全国支部長会は、2027(令和8)年2月15日(日)に開催する予定。

第2号議案 2024（令和6）年度 会計報告（案）

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

【収入の部】

| 科 目 | 予 算 | 収 入 | 比較増減 |
|----------------|---------|---------|----------|
| 前年度繰越金 | 68,231 | 68,231 | 0 |
| 納入会費 | 300,000 | 194,587 | -105,413 |
| 郵貯利子 | 0 | 32 | 32 |
| 理窓会正会員協力金 | 7,000 | 6,300 | -700 |
| 支部長会費会計から借用、補填 | 0 | 110,000 | 110,000 |
| 合 計 | 375,231 | 379,150 | 3,919 |

【支出の部】

| 科 目 | 予 算 | 支 出 | 比較増減 |
|------------------|---------|---------|---------|
| 交通費 | 50,000 | 34,000 | 16,000 |
| 慶弔費 | 10,000 | 0 | 10,000 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 |
| 支部長会積立金 | 0 | 0 | 0 |
| 事務費 | 13,000 | 16,622 | -3,622 |
| 会報2回の印刷費、封筒代 | 145,000 | 170,940 | -25,940 |
| 全国会員への会報等の郵送費 | 120,000 | 128,560 | -8,560 |
| HPページ更新、オンライン活用等 | 20,000 | 0 | 20,000 |
| 会長交流費 | 0 | 0 | 0 |
| 予備費 | 17,231 | 15,000 | 2,231 |
| 小 計 | 375,231 | 365,122 | 10,109 |
| 次年度繰越金 | | 14,028 | |
| 合 計 | 375,231 | 379,150 | -3,919 |

第4号議案 2025（令和7）年度 予算（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【収入の部】

| 科 目 | 予 算 |
|----------------|---------|
| 前年度繰越金 | 14,028 |
| 納入会費 | 225,000 |
| | |
| | |
| 支部長会費会計から借用、補填 | 170,000 |
| 合 計 | 409,028 |

【支出の部】

| 科 目 | 予 算 |
|------------------|---------|
| 交通費 | 45,000 |
| 慶弔費 | 10,000 |
| 会議費 | 0 |
| 支部長会積立金 | 0 |
| 事務費 | 16,000 |
| 会報印刷費等 | 175,000 |
| 全国会員への郵送費等 | 130,000 |
| HPページ更新、オンライン活用等 | 20,000 |
| 会長交流費 | 0 |
| 予備費 | 13,028 |
| | |
| | |
| 合 計 | 409,028 |

※ 納入会費 1,500円×137口+1,000円-（口座徴収料金 11,913 円）=194,587 円

【口座徴収料金内訳 152×53人+203×19人=11,913円】

※ 予備費の支出は原稿依頼謝礼図書カード5名分（3,000×5）

※ 令和7年度予算案 納入会費（1,500 円×150 口=225,000 円）予定、理窓会正会員協力金 なし

※ 令和7年度予算案 支部長会費会計より、170,000円借用、補填

※地区別支部長会費会計報告及び2025（令和7）年度予算（案）

令和 6 年度 会計報告

（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

【収入の部】

| 科 目 | 予 算 | 収 入 | 比較増減 |
|---------|---------|---------|------|
| 前年度繰越金 | 772,531 | 772,531 | 0 |
| 本年度会計より | 0 | 0 | 0 |
| 受取利子 | 6 | 420 | 414 |
| 合 計 | 772,537 | 772,951 | 414 |

【支出の部】

| 科 目 | 予 算 | 支 出 | 比較増減 |
|----------------|---------|---------|----------|
| 地区別支部長会費 | 250,000 | 0 | 250,000 |
| 令和6年度教育会会計への補填 | 0 | 110,000 | -110,000 |
| 予備費 | 522,537 | 0 | 522,537 |
| 小 計 | 772,537 | 110,000 | 662,537 |
| 次年度繰越金 | | 662,951 | |
| 合 計 | 772,537 | 772,951 | -414 |

令和 7 年度 予算（案）

（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

【収入の部】

| 科 目 | 予 算 |
|---------|---------|
| 前年度繰越金 | 662,951 |
| 本年度会計より | 0 |
| 受取利子 | 250 |
| 合 計 | 663,201 |

【支出の部】

| 科 目 | 予 算 |
|----------------|---------|
| 地区別支部長会費 | 250000 |
| 令和7年度教育会会計への補填 | 170,000 |
| 予備費 | 243,201 |
| | |
| 合 計 | 663,201 |

会 計 : （各担当理事） 齋藤常男 竹村精治 臼田三知永 平岡盛仁 澁谷重雄

監査の結果、正確・適正であることを認めます。

2025（令和7）年 5 月 16 日 監 査 : 田村清志 細川秀夫 金井信也

第3号議案

令和7年度 事業計画 (案)

1. 東京理科大学理窓教育会総会

2025 (令和7) 年度理窓教育会総会は「書面総会」方式とする。例年と同様、各支部長に議案を送付し、意見等をアンケートの形で回答してもらう。それを本部で集計し、会報第65号に詳細を掲載し書面で承認をしてもらうこととする。なお、2025 (令和7) 年度本部 (教育会) 総会は、対面で開催する。

2025 (令和7) 年度の目標：今年度もオンラインを活用した交流会ができるようネットワーク化を推進し、理窓教育会の充実と活性化を図る努力を継続する。

2. 各支部総会

各支部での実施状況を、会報第67号 (令和8年4月発送予定) に掲載する。

3. 地区別支部長会

地区別支部長会は、現実的には実施できず、10数年以上前から書面総会として実施されてきた。地区別支部長会を開催する場合、各支部長さんへの旅費などの補助ができないことが、一つの大きな理由であり、実施できないのが現状である。変わって昨年度、実施したZoomを活用した全国支部長会を開催する。

4. 広報活動

・第65号、第66号の発行とネットワーク化の推進。現在、クロネコゆうメール便とで対応している。会費の納入については、最終頁の前頁に会費納入の振込用紙を貼付け会員の皆様に剥がしていただき会費納入をお願いしたい。郵送経費など節減のため、次年度 (令和8年度) から、会報の発送は会費振込用紙を糊付けした4月 (春号) を郵送し、10月 (秋号) は「教育会のホームページ」への掲載とする。

・各地区支部長Zoom会の開催について、昨年度、第一回目が開催できた。しかし、現時点では21地区で留まっている現状を拡大できるように各地区理窓会と連携し組織を拡大させる。

・2025 (令和7) 年度も予算案の支出科目で新規に「ホームページ更新、オンライン活用等」とし、20,000円を計上したことを受けて広報活動の活性化の具体化を図る。

5. 財政の健全化に向けて

① 2020 (令和2) 年4月、郵便料金の値上げから会費が1,000円から1,500円となった。このことで、会費の納入に関しては、従来通りの方式「赤色振込伝票」による振り込みとなった。各支部では、本部への年会費 (1名あたり1,500円) の納入の呼びかけを一層進め財政の健全化を目指す。

② 各支部においては、若手教員など会員の加入促進の工夫に努めて、支部の活性化を図るため、できるところからZoom配信等を活用し、情報交換会に取り組む。

6. 会員の拡大

同窓の教員に会報を送付し、オンラインなどを用いた会員の交流を広げ、会員の拡大を図る。

7. 大学との協力促進

① 教員希望学生への指導、採用試験等の情報提供については従来通り実施し、多くの後輩が教職に就けるよう協力する。また、キャリアセンター (就職課) ガイダンス、面接指導への講師派遣、教育センター講座への講師派遣等の協力をする。

② 中高大連携を含み、学生募集や広報活動に協力する。

③ 公立学校教員採用第2次選考試験及び私学採用試験対策講座等への面接指導講師派遣に協力。

④ ホームcomingデー運営への協力 (実施日は10月19日 (日)、会場は葛飾キャンパスで開催)

⑤ 「第16回坊っちゃん科学賞」の審査・発表会への協力。対面方式で開催する。会場は今年度と同じく、神楽坂キャンパス211教室で計画、実施日は11月9日 (日) 午後1時開会の予定。

8. 若手教員ネットワーク交流会の継続

Zoomによる幹事会を継続化し、ネットワーク会の全体交流会・研修会などの開催を目指す。また、大学の方針の一つである中高大連携に寄与できるよう努力する。具体的日程は幹事会で決定する。

今年度は、神楽坂キャンパスにて10月26日 (日) に第5回目研修会・懇親会を開催する。

総会 総括

2025（令和7）年度の理窓教育会総会は、昨年度と同様に「書面総会」の方式をとらせていただきました。従いまして、議案に対するアンケート形式を採り、全国支部長の皆様の意向を集約させていただきました。

◎ 集約の結果

回答のあった支部数 19（昨年度 26）

| | | | | | | |
|------|----|----|----|---|----|---|
| 1号議案 | 賛成 | 19 | 反対 | 0 | 白票 | 0 |
| 2号議案 | 賛成 | 19 | 反対 | 0 | 白票 | 0 |
| 3号議案 | 賛成 | 19 | 反対 | 0 | 白票 | 0 |
| 4号議案 | 賛成 | 19 | 反対 | 0 | 白票 | 0 |

議案に対する意見として、書面総会の回答方法で Google フォームの活用を考えてもよいのではないか、というご意見がありました。

以上、2025（令和7）年度総会は、各支部長など皆様のご協力により、無事終了させていただきました。皆様方のご理解とご協力で厚くお礼申し上げます。

※ いただいたご意見は、10月の定例理事会で検討する予定です。

令和7年度 理窓教育会

書面総会に向けての理事会・役員会

総務理事 松原秀成（45 理・物）

理窓教育会総務理事の松原と申します。理窓教育会は、本部として理事会・役員会を組織しています。そのメンバーは、全国理窓教育会の富岡康夫会長を中心に活動を行っています。

さて、全国の同窓教員は都道府県単位で組織されて、交流や活動を進められていましたが、平成3年4月に現職教員の研修、交流・情報交換の組織として「東京理科大学教育会」を設立し、全国組織となりました。

その後、平成16年に「東京理科大学理窓教育会」と名称が変更されました。今日的な教育課題などの研修、各地区教育委員会の諸施設など、同窓教員のネットワークを図り、情報交換や学び合いを継続し、若手教員の育成に寄与することを活動の柱にして、活動しています。

現在、運営に係る理事・役員（本部）の皆さんは、首都圏を核にし、組織しています。理事会・役員会は、コロナ禍を経験したこともあり、現在は年に4回 Zoom 会議を開催し活動しています。そして、全国教育会会員の皆様には会報を年2回（春・秋）発行しています。

また、新たな試みとして昨年度（2025年2月16日（日））第1回目の全国教育会支部長会を開催し、各地区の情報交換を行いました。

理窓教育会理事会（本部）は、例年5月に対面による総会を開催し、本年度の活動報告、会計決算・監査報告、次年度の活動計画、予算案などを検討し、理事会・役員会の承認を受け案とし、全国47都道府県の支部長先生に郵送させていただきます。「書面総会」をおこなっています。その結果は、会報秋号へ掲載しています。

教育会の組織活性化、財政健全化など、困難な課題はありますが、校友会理窓会（本部）の関連団体の一つとして寄与し、そして、母校理科大の発展に少しでも貢献できる団体として活動が進められればと思います。今後とも、教育会の皆様ができることから協働し、各地区のつながりを目指したいものです。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

結びに、年 2 回発行の会報ですが、来年度 2026 年度より 4 月発行の春号は冊子（会費振込用紙を張り付け）で郵送いたします。しかし、10 月発行の秋号は教育会ホームページへの掲載となりますのでよろしくお願ひいたします。なお、ご質問などございましたら総務理事：松原までご連絡をお願いいたします。

《松原秀成メールアドレス》
hidehidenari.matsubara@gmail.com



《2025 年 5 月 25 日（日）書面総会のための理事会》

管理職への昇格

2025（令和 7）年度の人事異動で、多くの同窓生が管理職に昇格されました。心からお祝いを申し上げます。ますますのご活躍を！

【北海道】

- 齊藤光一（平 2 理） 北海道札幌啓成高・長
- 三浦治彦（平 2 理） 北海道石狩南高・長
- 宮本幸紀（平 4 理） 北海道豊富高・長
- 高橋弘明（平 3 理） 北海道教育庁胆振教育局
- 能登啓児（平 2 理数） 北海道札幌丘珠高・長

【秋 田】

- 阿部義弘（昭 58 理物） 鹿角市教育長
- 荒川正明（昭 63 理工数） 県管理主事
- 金子 淳（平元理工数） 県生涯学習センター所長
- 土田一人（昭 63 理工応生） 県立湯沢高・頭
- 岩見 進（平 9 理工数） 県教育庁高校指導課

【東 京】

- 梅原章司（昭 61 理数） 東京農業大学初等中等教育部・長
- 升田佳佑（平 20 理数） 東京都教育委員会指導主事
- 鈴木健太（平 20 理数） 都立農産高・副校長

【山 梨】

- 清水 健（平 3 理数） 笛吹市立春日居中・長
- 樋口友喜（平 3 理数） 笛吹市立一宮中・長
- 雨宮友成（平 7 理数） 甲府市立北西中・頭
- 望月英宏（平 9 理応物） 甲斐市立竜王北中・頭
- 藤森一樹（平 4 理工数） 県立甲府南高・頭
- 土屋雅崇（平 8 理応数） 県教育委員会主幹
- 小澤一仁（平 12 院物） 県教育委員会指導主事

【静 岡】

- 鈴木 学（平元理工数） 県立浜松南高・長
- 磯部正之（平 3 理化） 県立磐田農業高・長
- 梶山佳明（平 2 理工数） 県立藤枝東高・長
- 井出和俊（平 7 基礎生） 富士宮市立柚野中・長

【富 山】

- 近藤智久（昭 60 理化） 高岡市教育長

【滋 賀】

- 饗庭庄城（昭 63 理工） 県立堅田高・長

【岡 山】

- 赤松一樹（昭 60 理応数） 県立和気閑谷高・長
- 中西 崇（昭 63 理数） 県立勝間田高・長
- 鳥越昭正（平 13 理数） 県立倉敷南高・頭
- 仁科 康（昭 55 理応数） 倉敷市教育長
- 萩原康正（昭 59 理工数） 瀬戸内市教育長

【広 島】

- 國藤生美（昭 63 理工数） 県立府中高・長
- 中原健次（昭 62 理工物） 県立福山商業高・長
- 部屋 聡（平 8 理数） 県立呉三津田高・頭
- 大久保信行（昭 61 理数） 比治山女子中高・頭

【徳 島】

- 楠 俊弘（平 9 理数） 県教育委員会指導主事

【熊 本】

- 光永幸生（昭 61 理工数） 熊本マリスト学園中高・長

【大 分】

- 長野雄一郎（平 8 理物） 別府市立亀川小学教・頭

※ 以上、名簿到着の都道府県（公立・私立）の昇任者のみ掲載です。

理窓会行事

全国支部長会／代議員総会 報告

常務委員 松本 明 (57 理・数)

6月22日（日）午前11時から、PORTA 6階の理窓会倶楽部において、「全国支部長会」が開催された。今年是全国を8ブロックに分け、ブロックごとの情報交換会を中心に行われた。ほとんどの支部長さんが出席され、顔が見える形での懇談の場ということもあり、どのブロックも活発な意見交換が行われていた。近隣支部の状況がよく分かったと、1年に一度はこのような機会があると嬉しいなど、概ね高評価をいただいたようである。



最後の報告会で、各ブロックから発表された意見をいくつか紹介したい。

・参加者が交流を楽しめるような総会を開催し、特に若い世代にも参加したいと思ってもらえるようにしていきたい。／・会員への情報提供をまめにしていきたいが、郵便料金が値上がりしており財政的に厳しいものがある。／・大学を卒業しても首都圏で就職する若者が多いようで、地方支部は会員が増えない。／・まずは、近隣ブロックの情報交換会を開催していきたい。／・支部総会に、理窓会の正副会長がおいでくださるのはたいへん嬉しい。大学の様子

がよく分かる。／・支部によっては、サイエンス講座や工作講座を開催しているがたいへんよい取組である、など。

最後に各ブロックからご報告をいただき、終了となった。



同日午後1時より、1号館17階の記念講堂において、「代議員総会」が開催された。司会には中裕美子常務委員が担当された。はじめに浜本隆之理事長よりご挨拶をいただき、続いて増淵忠行理窓会長が所信表明を行った。議事に入る前に、議場出席代議員123名、書面出席62名の確認があり、代議員総会の成立が宣言された。議長は、広島県の前眞一郎支部長が指名され了承された。第1号議案：2024年度理窓会事業報告、第2号議案：2024年度理窓会収支決算及び監査報告、第3号議案：2025年度理窓会事業計画（案）、第4号議案：2025年度理窓会予算（案）が提案されたが、採決の結果、賛成多数で可決された。また、第5号議案：会則の変更について（案）も賛成多数で可決された。その後、6点の報告（第20回HCD、第16回坊ちゃん科学賞、ホームページ及びSNSの活用、ダイバーシティの取組、「理窓」の発行、その他）があった。



その後、近隣の研究社ビルに会場を移して、大懇親会が開催された。浜本隆之理事長、石川正俊学長をはじめとする多くのご来賓の皆様、代議員の皆様にご参加いただき、盛大に開催された。一日を通して、たいへん和やかで建設的な意見交換ができたと感じている。同窓生や大学に関係する皆様の理科大への愛を感じた一日であった。

2024（令和 6）年度
第 15 回「坊ちゃん科学賞
研究論文コンテスト」報告

実行委員長 松原 秀成（45 理・物）

1) 発表会・表彰式



左：優秀賞校にプレゼンされた石川正俊学長
右：審査委員長 秋山仁先生



上：会場内で参観されている皆さんです

上の写真のように昨年から、コロナ禍前（2019 年度第 11 回大会）に戻しての開催にいたしました。分野別審査において、教育会の 60 名に及ぶ先生方のご協力のおかげで運営がなされています。心から感謝を申し上げます。

さて、今年度（第 16 回大会）は、下記の通り実施いたします。

【開催期日・時間・会場】

- 令和 7 年 11 月 9 日（日）午後 1 時開始
- 東京理科大学 2 号館 211 教室（大教室）
- 昨年同様、応募校はすべて参観できるようにします
- 発表会を動画録画し、編集後 12 月中頃より理窓会ホームページに公開します

ここで、2024 年度第 15 回コンテストに参加された親御さんの感想アンケートの紹介をさせていただきます。

研究内容もさることながら、発表についてもそれぞれに工夫・努力が見られ素晴らしかったと思います。発表会場にたくさんのモニターでどこにいても分かりやすく、コンテストの運営の先生方のおかげで恵まれた会場で発表できることに心より感謝いたします。子供が研究しているのを、そばで見守っていると、心が折れている場面をよく見ました。この発表会では、また研究にチャレンジしようと思えるエッセンスを個々に受け取っている様子が見られて、ここに集まった子どもたちは幸せだなと感じました。いろいろとお心遣いをいただき、ありがとうございました。親としてこのような発表会で子どもの姿を見られたことがとても嬉しかったです。《九州から参加された親御さんより》

結びに、石川正俊学長先生には、連続して 3 年間開会から閉会までご出席いただきました。そして、会場の高校生の皆さんへの応援メッセージを送っていただきました。本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。また、秋山仁審査委員長先生はじめ、総合審査委員の先生方にも温かいご指導をいただきました。実行委員会を代表して御礼申し上げます。理窓教育会の先生方におかれましては、今後とも「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」に、ご支援を賜りますようお願いいたします。

《大学からのお知らせ》

来年度より、創域情報学部が野田キャンパスに、科学コミュニケーション学科が神楽坂キャンパスに新設される予定です。詳しくは、東京理科大学公式ホームページか、下記をご覧ください。

[\(https://www.tus.ac.jp/reorganization/2026/\)](https://www.tus.ac.jp/reorganization/2026/)

～ここからは、教育現場で活躍されている
同窓生をご紹介します～

(ホップ) 新任教員の抱負

(東京都) 足立区立谷中中学校

教諭 鈴木 優斗
(令和 6 理 2・数学科)

令和 6 年 4 月から足立区立谷中中学校に赴任して、2 年目を迎えました。今年度は、1 学年の担任、ソフトテニス部の顧問および 1～3 学年の教科(数学)指導を担当しております。同期や先輩教員の協力、助言を得ながら、忙しくも充実した、楽しい教員生活を送っております。今回は、教科指導と生徒指導の 2 点について書かせていただきます。

まず、教科指導についてです。私は、「学習者主体の問題解決型授業」を軸に教科指導を行っています。日常的・数学的な題材を問題として生徒たちに示し、生徒たちから目標(めあて)を引き出す。生徒たち一人一人で考える時間と協働学習により考えを深める時間を確保する。教員としてはファシリテートにまわり、生徒たちに寄り添い、一緒に考えたり、助言を行ったりする。その後、生徒から考えを引き出し、教員側が補足説明を行う。このような取り組みを通じて、「生徒が安心して、自信を持って学習できる」ことを意識してきました。最初は、適切な問題の提示や生徒から目標を引き出す方法がうまくつかめず、苦勞しました。先輩教員等の助言のもと、授業改善を行っていったことで、生徒たちはより主体的に学習に取り組めるようになっていったと感じています。

次に、生徒指導についてです。「必要なことを自ら考え行動できる」生徒の育成を軸に、担

任を行っています。「なぜ・どうして」「何が適切な行動なのか」「どうしたらよりよくなるか」を意図的に生徒から引き出し、主体的な行動に結びつけようとしています。部活動においても、この点を意識して指導しています。生徒たちの技術力の向上だけでなく、「なにが必要なのか」を意識させ、主体的に行動させる。このことが「生きる力」に大きく関わってくると感じています。

どちらにも共通していることは「主体性」です。然るべきときにきちんと褒め、時にはきちんと叱る、このようにして生徒たちを正しい道に導くことも大事だが、生徒たち自身で考えて自分から動くことができるようになってほしい、この気持ちをもって教員生活を送っていきたいと思います。

まだまだうまくいかないことが多く、先輩教員に助けられてばかりです。ですが、「学び続ける教師」を忘れずに、生徒たちに寄り添い、信頼関係を得ながら、より指導力を向上させていきたいと思っています。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

(埼玉県) 吉川市立中央中学校

教諭 新井 友梨
(令和 7 創域理工学部・数理科学科)

目標としていた中学校の教員としての生活が始まりました。今年度は、特別支援学級 2 クラスの副担任、吹奏楽部の顧問をしています。配属が決まるまでは特別支援学級と深くかかわることを想定しておらず、4 月は生徒と一緒に生活することで精一杯でした。しかし、分からないことが多いからこそ、やってみようという気持ちで楽しく仕事をしています。

1 学期は、生徒 14 人のそれぞれの特性や学習状況を把握するところから始め、日々、授業を修正しています。特に数学の授業は、特別支

援だからこそ生徒一人一人の成長にこだわれるため、週4回は指導の個別化に力を入れています。数学が得意な生徒もいれば苦手な生徒もいるように、黙々とプリントに取り組むことが好きな生徒もいれば、1問ごとにできたことを伝えたい生徒もいます。そのため、学習進度に合わせたプリントに取り組むだけでなく、特性に合わせた学習のスタイルを作ることで、生徒が前向きに学習できるように意識しています。加えて、週1回は時間やお金、表の見方など生活に結びつく内容を取り入れ、自立の支援につなげています。他にも、野菜の栽培や掲示物作りといった自立活動を担当したり、通常学級の数学で Team Teaching としてサポートをしたりしています。

私が教員を志望した理由は、母校での教育ボランティアを通して、「できた」「分かった」といった生徒の笑顔にやりがいを感じたからです。しかし、母校と着任校では生徒の実態が大きく異なり、様々な理由から学習に向かうことが難しい生徒が多くいました。そのため、数学的な指導だけでは生徒の成長を引き出すことは難しく、登校時間や休み時間等で生徒とのコミュニケーションの時間を作ることがとても大切だと気づきました。よい関係性を作ることで「先生も近くにいるし、ちょっとやってみようかな」と学習に向くよう促し、生徒の成長につなげていきたいと思えます。初任者としてのこの1年は分からないことが多くありますが、先輩の先生方に学びながら、生徒の成長を一番に考え行動していきます。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

(千葉県) 県立君津高等学校

教諭 吉野 悠介

(令和6理2・化学科)

令和6年4月に千葉県立君津高等学校に着任し、現在2年目を迎えました。昨年度はバスケットボール部の主顧問と2学年の副担任

として過ごし、今年度は主顧問を継続しつつ、1学年の担任を担当しています。バスケットボール部は、1年生が男女計27名入部し、大所帯となりましたが、基礎基本の徹底と自律を軸に、日々試行錯誤しながら指導に当たっています。校務分掌は教務部で、主に成績処理を担当しております。

私の、教員としての大きな目標は、関わるすべての生徒が自らの夢や目標を実現できるように支えることです。私自身、高校時代に家庭の事情から進学を諦めかけた経験があります。どうしても教員になりたいと考えていた私にとっては、「進学を諦めること=夢を諦めること」であったため、どうにかできないかと悩んでいました。そのときに、進路指導の先生からある企業の求人をご紹介いただき、「働きながら大学に通う」という道を選択しました。高校3年生で、大学受験と就職試験を乗り越え、入学・入社後の4年間は企業に勤めながら、化学の専門性を高め、教員になるための学びを続けてきました。この経験から、諦めずに努力を続ければ道は必ず開けること、そして、さまざまな制約がある中で夢を貫くことの厳しさと尊さを学びました。だからこそ、どのような進路希望にも丁寧かつ柔軟に向き合い、それぞれの夢や目標の実現・達成に一步でも近づけるよう伴走することが私に課された使命であると考えています。進学・就職いずれの場合も、将来の夢をかなえるために必要な力を育む授業や部活動などの充実に努めてまいります。

今後も、いただくご意見を真摯に受け止め、授業や部活動等の業務改善を重ねていきます。私自身も勉強を続け、生徒一人一人のためにできることを考え行動できるよう、努力を続けていき、夢や目標に挑む生徒を支える「伴走型の教員」を目指して精進してまいります。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

(神奈川県) 県立小田原高等学校**教諭 佐藤 快星****(令和7理・数)**

令和7年4月から教員生活を始めて半年が経ちました。現在は1年次の副担任、2つの部活動の副顧問を担当しています。新任教員として半年間駆け抜けてきた中で、私が教員として大切にしていることと今年度の抱負について書かせていただきます。

私が教員として最も大切にしていることは、生徒と過ごす時間の確保です。授業はもちろんのこと、部活動や放課後、学校行事などで生徒と共に時間を過ごすことが重要であると考えています。教員をしていると、授業やHRでの生徒の様子がその生徒の全てではないなど感じる場合があります。学習面では満足な結果が得られていない生徒が、部活動でレギュラーとして第一線として輝いている。HRで大人しい様子の生徒が、文化祭の準備では特技を活かしてイニシアティブをとっている。これらは実際に私が発見できた生徒の一面です。そしてそれは授業準備や分掌の仕事のみをしても、気づけなかったものだと思います。どんな生徒にも多くの時間を共に過ごすことでこそ、気づくことのできる生徒の「よさ」があります。そしてその「よさ」は褒めるポイントになったり役割分担を与える材料になったりして、授業やHR経営に還元していくことができます。副担任・副顧問で比較的時間がある今度だからこそ、その「よさ」を探す時間を確保するように意識しています。

今年度の抱負は、おもしろいと思われる教師になることです。おもしろいというのは、授業における学術的な面白さも、ファニーな面白おかしさも表しています。学術的なところでは、しばしば大学で学んだ知識を活かして、授業でより深い数学の話をするようにしています。フ

ァニーなどところでは、毎授業1アイスブレイクをモットーに、数学に絡めたギャグを言ったり、生徒の間で流行っているアプリや娯楽の話をしたりしています。在籍する教員の中で最年少という立場を活かして広く世の中のトレンドには目を向けるようにしています。

まだまだ初任者として未熟なところばかりですが、今後も生徒と過ごす時間を確保しながら、学び続ける教師として日々精進していきます。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

(私学) 湘南白百合中学校・高等学校**教諭 高橋 麻衣****(令和7理学研究科修了)**

4月から始まった新生活も気が付けばひとつの学期を終え、だんだんと新たな環境に慣れてきました。今年度は中学2年生の副担任、バレーボール部の顧問、授業では中学2年生と高校2年生を担当しています。教育実習や昨年度までの2年間の非常勤講師生活では中学生と関わる機会が多くあり、その経験を活かしつつ、この1学期は特に高校生との接し方・授業の進め方に重きをおいてきました。大学進学のための受験を意識した数学の授業を行うことは初めてであり、担当授業が分かってから授業が始まる前までずっと不安な気持ちが大きかったです。しかし初めてだからということに甘えず、一人の教員として価値のある授業を自信を持って行うため、私自身も日々数学の問題を解く、解説動画を視聴するなど、学び続ける意欲・姿勢を大切にしています。中学生の授業では、授業内容はもちろんですが、言葉選びやわかりやすい板書を意識しています。そして、生徒からの授業アンケートの個別結果をいただき、自分の授業に対する生徒目線での課題を得

ることができました。私自身も日々授業を行って行く中で不安に思っていた授業進度や生徒の理解度の確認が特に課題であり、この課題を克服できるよう教育実践や研究内容を調査し、自身の授業にも積極的に取り入れていき、日々精進していきたいと思っております。そして、学年や担当科目が変わっても自信をもって授業を行い、生徒に数学って楽しいなと思ってもらえる授業が展開できるようこれからも日々丁寧に授業に向き合い、経験値を積んでいきます。

本校で働き始めて、所属する学年や部活動、校務分掌、すべての業務において先輩方から得られる学びが日々とても多く、想像していた教員生活よりも遥かに充実した楽しい毎日を送っています。今年度は副担任として学年会に所属していますが、いずれは担任としてクラス運営を試してみたい、まだ少し先になってしまうかもしれませんが教育実習の指導教諭もやってみたいという目標があります。今はまだ自分が担当する授業の準備や生徒の質問対応に集中しているのでまずは周囲を見渡せるくらい余裕のある教員になりたいと思います。

(ステップ) 中堅教員の金言

『特別支援学校での理科教育、そして学び』

(千葉県) 県立松戸特別支援学校

教諭 伊野瀬 美紀

(平成 26 理 2・化学科)



初任校は千葉県立袖ヶ浦特別支援学校で、2年間は肢体不自由教育の高等部

『下学年の教科指導を行う教育課程』で担任を

しながら、学級と『高等学校に準ずる教育課程』、『教科等合わせた指導を行う教育課程』の理科を担当しました。その後3年間は病弱教育で千葉県こども病院の院内学級において中学生を担当しながら中高生の理科を担当しました。院内学級は長期入院のため普通校から転籍してくる生徒がほとんどで、病棟によっては入れ替わりが多く、3年間で中1～中3の理科と高校の物化生地をほぼ網羅しました。大学受験以上に勉強したり病棟内で実験や観察ができるよう工夫したりしながら授業準備に取り組む日々でした。また前籍校で不登校の生徒を担当する機会も多く、生徒一人一人との関わり方を深く学びました。退院後「学校に通えるようになった」と報告しに来てくれる生徒もいて、とても嬉しかったです。

育休後に現任校(肢体不自由教育)へ転任しました。2年間は高等部『教科等合わせた指導を行う教育課程』の担任をしながら、学級と『高等学校に準ずる教育課程』の理科を担当しました。学級は認知が幼児～中1くらいまでと幅広く、授業づくりでは「自分の身体や生活につながる」ということをどの認知段階でも実感できるように試行錯誤しました。今年度は中学部『自立活動等を学ぶ教育課程』の1年生を担当し、理科も担当しました。言葉は話せない生徒も内言語をもっています。生徒の考えを懸命に読み取り表現する先生方からは多くのことを学びました。理科では先生方と協力して、医療的ケアを必要とする生徒やリクライニング車いすを利用する生徒も自分の手で土づくりからできるよう工夫しました。植物の成長過程をどこまで理解しているか、絵カードを使って生徒とやり取りもしました。

現在は3人目の産育休中です。復職後も引き続き、どのような生徒にも実体験や学びを深める理科を追究していきたいです。

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

『あの頃なりたかった先生の姿に
なれているか?』

(埼玉県) 川口市立鳩ヶ谷中学校

教諭 近藤 恵

(平成 30 理専・数)



初任の年から中学 1 年生の担任を任せられ、未熟ながらも若さゆえのやる気とパワーで生徒や校務分掌に全力で向き合いました。初任校は埼玉県屈指のマンモス中学校で、生徒も先生も

多くいる中で、授業や学級運営に「自分らしさ」を追求し、生徒との信頼関係づくりに尽力しました。初めの 2 年は生徒指導の面で苦戦し、周りの先生方に助けていただいていたばかりでした。彼らが 3 年生になって卒業する前には、多くの生徒に「1 年〇組が一番楽しかった!」「近藤先生のクラスでよかった!」と言ってもらい、中学校 3 年間という成長するうえで大切な時期に関わらせていただける喜びをかみしめることができました。

4 年目以降は特に校務分掌に力を入れ、できるだけ数多くの仕事に触れるように努力しました。教育相談や生徒会や校内研修、学校行事、総合的な学習の時間や道徳など、学校教育における重要なポストを任せさせていただく機会を多くいただきました。専門外ではない分野を担当し、視野を広げることで、生徒との関わり方を見直す場面も多く、多面的なアプローチを施すことができるようになったと実感しています。

8 年目を迎え、後輩の教員が多くなった今、自分の身のふるまいを反省することも多い日々です。時代の変化もあり、この数年間でも生徒や保護者が要求する教育の形も変容してきたように思います。私が学生時代通っていた塾や、学校で関わっていただいた先生方は皆、誰に対

しても平等で、生徒のどんな些細な悩みや相談にも真摯に向き合ってくださいました。また、夢や目標に向けてどのように努力すればよいのか、具体的な道筋を示してくれ、安心して話をする事ができる存在でした。日々の激務の中でふと振り返ると、自分よがりの指導になってしまうこともあり、あの頃見ていた先生たちにはまだまだ遠いように思います。これからも生徒、保護者そして同僚と互いに手を取り合い、誰からも頼りにされるような先生でいられるよう邁進していきたいです。

(ジャンプ) 同窓校長の活躍

『私学と公立、地方と都市』

東北文教大学山形城北高等学校

校長 大沼 敏美 (昭和 57 理・数)

2020 年 3 月 31 日の夜、私は県立山形南高校の校長として布団に入り、翌朝には私立山形城北高校の校長として目を覚ますという、非常に貴重な経験をした。ちょうど新型コロナウイルスの感染拡大が始まり、全国一斉の臨時休校措置が取られていた時期である。

「私立と公立の違いは何か」とよく聞かれるが、私は「私立の校長になってから、机の上には常に電卓がある」と答えている。言うまでもなく、公立学校では日常の経費も人件費も建物の維持費も、すべて税金で賄われている。それに対し、私立学校は保護者からいただく授業料と国・県からの補助金によって運営されている。特に高校では、公立の場合、授業料が学校の運営費に充てられることはなく、つまり、教職員の給与とは無関係である。そのため、生徒募集にそれほど力を入れる必要がなく、結果として

教員の向かうベクトルの大きさや向きは人それぞれになりがちである。

また、公立では転勤がつきものだが、異動を重ねるごとに教員のベクトルの向きがずれていき、4度も繰り返せば真逆を向いてしまう、というのも珍しくない(笑)。公立学校の難しさは、ベクトルの「大きさ」はさておき、その「向き」をそろえることにある——38年間の公立高校勤務を振り返って、改めてそう思う。

一方、現在勤めている高校では、たとえ大きな変革と思われることであっても、2か月あれば十分に実現できる。制服のリニューアルや海外修学旅行の実施、さらには会計業務の簡素化といった細かな改革も、方向性さえ示せば自然と動き出す。だからこそ、私立学校では校長の示すビジョンが極めて重要になる。進むべき方向を誤れば、大きな混乱を招く可能性があるのも、私学ならではの特徴といえる。

話は変わるが、親世代が大学受験をしていた約30年前、1994年の大学等進学率は、山形県で30.2%、東京都で39.4%と、その差は約9ポイントだった。しかし2023年には、それぞれ48.8%、72.8%と、24ポイントにまで差が広がっている。この背景には、地方から都市圏へ進学した学生の多くが卒業後もそのまま都市に残るといった傾向があり、結果としてSES

(社会経済的背景)の格差が拡大したことが大きな要因と考えられる。大学を卒業した親は、自分の子どもも大学に進学させたいと考えるものである。最近、地方の公立トップ校で定員割れが報じられることがあるが、これも同じ構造による。進学校であるほど、卒業生は地元に戻らない。そうして、地方におけるSESは今後も低下し続けるのだろう。教員のなり手不足もそうだが、地方と都市の格差拡大は、極めて深刻な課題である。

(今年度より、理窓会山形県支部支部長)

☆ ★ ☆ ★ ☆ ★ ☆

『教職を振り返って』

千葉県立千葉中学校・千葉高等学校

校長 高梨 祐介

(平成3理・物)

1. 教員として … 教職課程を履修した理由は、大学卒業後にもしかしたら地元である千葉に戻り、その時に万が一にも職業として教員を選ぶかもしれないとの消極的な理由からでした。大学を卒業したら一般企業に就職し、千葉県には戻らないと考えていたため、教員免許取得のための単位はとりあえず最低限取ればいいやという気持ちでいました。しかし、大学3年生から4年生にかけて、体調を崩し病気をしたことで、企業への就職活動を思い通りに行うことができず、結果的に千葉県の教員採用選考を受け、講師を経て採用となりました。このような経緯でなった教員ですので、やりたいことや成し遂げたいことがあるわけではなく、毎日、目の前にある業務をこなしていました。ただ、仕事からは逃げずに自分のできることはしっかりと取り組んでいこうと仕事に向き合ってきました。自分なりにですが一生懸命に仕事を続けていくと不思議なことに、教員という仕事に面白みややりがいを感じるようになりました。担任だけでなく、学年主任や分掌の長も任せられるようになりました。教科指導では、県教委から教科研究員(理科)に指名され、2年間授業実践を行いました。教科研究員をきっかけに学校外の仕事がととも増えました。

2. 行政職員として… 中堅教員として責任のある仕事も任せられるようになってきたなか、大きな転機がありました。それは行政への異動です。私自身、行政は自分には無縁の世界であり、もし行ったとしても責任も重く仕事が大変で自分には務まらないだろうと思っていましたが、結果的に合計で9年間お世話になりました。行政での業務は、学校での業務とは全く異なり戸惑うことも多かったのですが、慣れとは怖いもので、なんとか人並みにさまざまな仕事を

行ってきました。そのなかで多くの人たちと出会えたことは、本当に良かったと思います。他校種の先生方や県行政、国、他都県の人など、仕事に関わるたくさんの方々と出会いました。関わったすべてに人たちに感謝申し上げるとともに、自分にとって大きな財産となりました。人と人は思いもかけないところで繋がっており、さまざまな場面でその方々との関わりがあります。行政での仕事で一番印象に残っているものは、学校危機管理を担当していた時のことです。学校危機管理担当は2年間勤めました。1年目は指導主事、2年目は主幹として責任のある立場を任せられ、学校危機管理監のもと業務にあたりました。令和元年度は千葉県にとっては忘れられない年となりました。県内では、9月から10月にかけて、台風や大雨等により大きな被害を受けました。教育機関においても広範囲で施設・設備が大きな損傷を受けるとともに、学校では児童生徒の安全を確保するために教育課程を大幅に変更するなどの緊急対応を迫られました。千葉県災害対策本部が設置され、教育委員会では私たち学校危機管理担当が中心となり対応にあたりました。未曾有の災害であり、前例のないなかでの手探りの対応であり、スピード感も求められました。厳しい状況のなか、皆で力を合わせて乗り切りました。多岐にわたりさまざまなことを経験し、多くのことを学びました。

3. おわりに… 消極的な理由で教職を選んだ私ですが、自分なりに真剣に一生懸命取り組み、校長として責任のある立場で、学校を任せられるようになりました。振り返ると、いつも自分一人ではなく、困難な仕事のなか、周りの人たちに支えられ、助けられて現在の私があります。理科大の同窓の方々からも声を掛けられ、親身になって接していただいています。多くの方々を知り合うことができ、刺激を受け、私自

身の教員生活が充実したものとなっています。これからも、目の前のことから逃げることなく、自分なりではありますが、正面からぶつかり前へ進んで行きたいと思います。感謝の気持ちを常に持ち、生徒や職員のために尽力していきたいと思っています。

事務局よりのご連絡・お願い

1 理窓教育会事務局について

理窓教育会事務局は、PORTA 神楽坂 6 階の理窓会事務局内に置かれています。ただし、理窓教育会専属の事務員がいるわけではありませんので、ご連絡等は郵送でお願いいたします。なお、お急ぎの場合は、下の支部長等の連絡窓口にご連絡ください。

《書面での連絡先》

〒162-0825 新宿区神楽坂 2-6-1

PORTA 神楽坂 6F 理窓会事務局内
東京理科大学理窓教育会 宛

《支部長等の連絡窓口》

教職課程指導室 松本 明 (編集担当)

TEL : 03-5228-7335 (内線 2781)

Mail : aki_matsu@rs.tus.ac.jp

2 理窓教育会ホームページ

「理窓教育会」と入力すると開きます。あるいは、下記のアドレスを入力してください。

<http://risoukai.com/educ/>

「東京理科大学理窓会」のホームページにも「理窓教育会」に関連する情報があります。

3 事務局からのお願い

昨年度から経費削減のためクロネコゆうメールで発送することになりました。これは信書ではありませんので、封筒に切り込みを入れて冊子のみをお送りします。そのため、ヤマトビジネスメンバーズに登録して送り状発行システムにより私たちがタックシールを印刷添付いたします。会費の納入状況をお一人お一人にお知らせできませんので、念のため全員の皆様に振替用紙を添付いたします。ご理解いただき、会費の納入をお願いいたします。

4 会費の納入方法

【送金方法に関するお願い】

同封の赤い振込用紙をお使いください。ゆうちょ銀行で送金する場合は、ATMからお振込ください（窓口 203 円、ATM152 円の手数料がかかります）。また、住所等に変更がない場合は、「ゆうちょダイレクト」による送金（月 5 回まで手数料が無料）をお勧めします。ただし、漢字による通信ができないため、お手数ですが、本人確認のため、氏名、住所はカタカナですが、本人確認のため、氏名、住所はカタカナでご入力ください。

【各支部会計担当者様へのお願い】

支部で一括して会費を納入される場合には、納入者の住所、氏名の一覧表をメールで会計担当までお送りください。会報をご自宅にお届けすることができます。

（口座番号）00160-9-715349

（加入者名）東京理科大学理窓教育会

会計担当理事 平岡 盛仁 (57 理・数)

m.hiraoka@rs.tus.ac.jp

白田三知永 (57 理・数)

usuda.m@rs.tus.ac.jp

| 県名 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 | 県名 | 4年度 | 5年度 | 6年度 | 7年度 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 北海道 | | 1 | 1 | 1 | 滋賀 | | | | |
| 青森 | | | | | 京都 | | | | |
| 岩手 | 2 | 4 | 2 | 2 | 大阪 | | | | |
| 宮城 | 2 | 4 | 2 | 2 | 兵庫 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 秋田 | 16 | 16 | 12 | 17 | 奈良 | 1 | | | |
| 山形 | 1 | 1 | | 1 | 和歌山 | | | | |
| 福島 | 1 | 1 | 1 | 1 | 鳥取 | 1 | 2 | | |
| 茨城 | 6 | 4 | 3 | 1 | 島根 | | | | |
| 栃木 | 1 | | 2 | 2 | 岡山 | 7 | 2 | | |
| 群馬 | 3 | 1 | | 1 | 広島 | 37 | 31 | 1 | 2 |
| 埼玉 | 8 | 44 | 2 | 2 | 山口 | | 1 | | |
| 千葉 | 4 | 20 | 1 | 21 | 徳島 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 東京 | 42 | 52 | 34 | 40 | 香川 | | | | |
| 神奈川 | 10 | 9 | 8 | 10 | 愛媛 | | | | |
| 山梨 | 1 | 1 | 1 | 1 | 高知 | 1 | 1 | | 1 |
| 長野 | | | | | 福岡 | | | | |
| 岐阜 | | 1 | | | 佐賀 | 1 | 1 | | |
| 静岡 | 2 | 6 | 4 | 3 | 長崎 | | | | |
| 愛知 | 1 | 1 | | 2 | 熊本 | | | | 1 |
| 三重 | 1 | 1 | 1 | | 大分 | | | | |
| 新潟 | 2 | 2 | 2 | 2 | 宮崎 | | | | |
| 富山 | | 2 | | 2 | 鹿児島 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 石川 | | | | | 沖縄 | | | | |
| 福井 | | 2 | 1 | 1 | 合計 | 154 | 214 | 81 | 119 |

令和7年8月31日現在

《編集後記》 理窓教育会報第 66 号をお届けいたします。お忙しい中、誌面総会等でご協力いただいた支部長さん、原稿や記事をお寄せいただいた皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。▲さて、今回から編集担当が変わりました。小久保正己理事には長きに渡り誠にご苦労様でした。編集作業はたいへん難しく悪戦苦闘の日々でした。小久保先生の偉大さを実感した次第です。▲本会の最大の課題は、会員を増やすことです。この教育会報は皆様の会費で作られ送られます。次の第 67 号は、郵送ではなくホームページ公開となります。会員が増加するようご協力をお願いいたします。▲教育会の全国支部長オンライン会議は、令和 8 年 2 月 15 日（日）に行います。是非ともご参加ください。

編集担当理事：松本 明 (57 理・数) aki_matsu@rs.tus.ac.jp